

事業実績(6/20時点)

- ・組合員数//3,054名(計画比98.4% 前年比101.8%)
- ・累計供給高//168,266千円(計画比102.5% 前年比106.5%)
- ・月間一人当たり利用高//18,771円(前年比110.0%)



2023年7月発行 No.118

生活クラブ奈良公式インスタグラム



発行//生活クラブ生活協同組合 理事会 編集//広報委員会 奈良県大和郡山市田中町913 TEL:0743-58-5225

2023年度活動方針

「共に考える未来、共に歩む未来を描いて」

6月12日 第17回通常総代会を開催しました

DMG MORI やまと郡山城ホールにて  
出席総代105名(本人出席27名 書面議決78名)

第17回通常総代会議案(賛成多数によりすべて承認)

- 第1号議案 2022年度活動報告承認の件
- 第2号議案 みなし脱退処理に関する3月度理事会決定の報告承認の件
- 第3号議案 2022年度決算報告及び剰余金処理案承認の件
- 第4号議案 2023年度活動計画及び事業計画案承認の件
- 第5号議案 定款変更案承認の件
- 第6号議案 2023年度役員報酬限度額承認の件
- 第7号議案 次期役員選挙管理委員選任の件
- 第8号議案 役員選出の件  
(特別決議 出資金の継続積み立てに関する特別決議)

自ら考え、行動する  
たくさんさんの「私」を増やす

理事長 夏目有香  
なつめゆか

私たちを取り巻く社会情勢は、刻一刻と変化し、先行きの見えない不安が常に付きまわっています。度重なる物価上昇、極端な円安は、食の生産現場や、私たち組合員の日々の暮らしにも大きな影響を与えています。今の時代を生きる私たちのライフスタイルをもう一度見つめ直し、考え、一人ひとりの日々の選択が先の未来を変えていく。自ら考え、行動す

るたくさんさんの「私」が集まって共同の力となり大きなうねりとなって社会を動かす。こんな時代だからこそ、私たちの力を信じ、共に行動する仲間を増やしていかなくてはなりません。  
顔の見える関係性を築く  
このような共感の波を起すためにも、今年度はコロナ禍によって遮断されていた組合員同士の直接会って交流す



退任理事を交えて  
記念撮影♪

- (後列右から)(前列右から)
- 岡田監事 小野塚元理事
  - 吉本監事 夏目理事長
  - 田中理事 武山理事
  - 西理事 牧村理事
  - 堀口常任理事

る機会を積極的に作り、顔の見える関係性を築きながら、消費材の持つ価値、優位性を再認識し、利用に結び付けられるような活動を推進していきます。まずは、度重なる飼料価格の高騰、子牛の販売価格の急落などで、未曾有の経営危機に陥っている酪農家を応援するため、「牛乳」の利用促進に向けた生産者との交流や乳製品を使ったランチ会を開催します。他に関西6生協で取り組んでいる「よやくる」推進に向けた継続的な活動。

そして特筆すべきは、3年ぶりに奈良県コンベンションセンターで開催される大試食会「ならフェスタ2023」。生産者と直接会って交流する機会が失われたこの3年間、私たちは、生産者の思いを聞き、私たち組合員の声を届けるという双方の交流、すなわち対話を待ち焦がれていました。たくさんさんの生産者が奈良に集結します。生産者と話すことで消費材の価値についてより深く学ぶ機会となるよう、また、組合員同士の繋がり、場、より良い未来への共感の場として、多くの組合員が企画に携わり皆で作り上げるフェスタにしていきましょう。

私が私らしく

いるためにできること

私たちが行動していくためには自分たちの身近な地域のことでも忘れてはいけません。私たちのアイデンティティを作る暮らしに近い地域は、私たちが守り支えてくれます。様々な地域課題を共有しながら、人それぞれの多様性を受け入れ、地域での繋がりを深めていきましょう。

同じ興味・関心を持つ組合員や地域に住む未組合員で構成される「コミュニティ」活動

の普及、また子育て中の組合員や高齢の組合員を支える場づくりを進めていきます。特に組合員活動においては、より多くの組合員が活動に関わることを、相互に支え合える社会、食や環境の豊かさを守る社会、すなわち生活クラブを地域に広げていくことが可能になります。しかし、委員の担い手不足など活動への参加者が少ないのが現状です。運営に携わる各エリア、専門委員会の委員をはじめ、理事は勿論のこと、社会を良くしていきたいという想いを持って日々活動しています。この想いが一人でも多くの組合員に浸透し、学び合い支え合える場が広がっていくことを期待します。

**5年後のビジョン！**  
**策定に向けて**  
 最後になりましたが、昨年度見送りました生活クラブ奈良の5年後のビジョンを考える第2次中期計画の策定を今年度改めて行なっていく予定です。

新たに2名の理事が加わった理事会を中心に、組合員、職員が

らも広く意見を聞き、広い視野を持って議論を進めていきます。共に考える未来、共に歩む未来を組合員の皆さんと描きながら、今年度も邁進していきます。ご協力、ご支援のほどよろしくお願ひ致します。

### 組合員理事に 聞きました

- ① 加入のきっかけは？
- ② これがあるから、生活クラブはやめられない！
- ③ 今後、理事としてやってみたいことは？

まきむらけいこ  
**牧村恵子**（新任・中南部エリア）

①牛乳・卵・豆腐の3点で五百円のお試しセットの子ラシをみて。

牛乳は思ったよりあっさり味の印象でした。近所に班があったので、加入を決めました。誰かと一緒に荷受けできるのが心強かった。

② パスチャライズド牛乳・卵・豆腐はもちろん必須。市販の肉類は苦手ですが、生活クラブの肉類は臭みがなく、おいしい。スイーツ系が本当においしい!! PTAなどで場がギスギスしているも、生活クラブのおやつを持参すると、目を丸くして「おいしい!!」と喜んでもらえ、場もなごみます。  
 ③こんなに高品質なのに、カタログか

らは伝わってきません。生産者がこんなにもいい消費材を作るために頑張っていることを広く組合員に伝えたいです。

いい消費材の共有をしたい。「買うものがないから脱退する」という組合員をゼロにしたいです。



たけやまかえ  
**武山佳恵**（新任・中南部エリア）

①関東にいたる大学時代の友人から、二十歳代後半からずっと勧められていました。当時はフルタイムの仕事で帰宅時刻が夜9時を過ぎていたので諦めていました。しかし働き方を変え、妊娠をきっかけに加入しました。  
 ②とにかくラクであることです。

チラシに載っている消費材はどれも信頼できるので、いちいち裏に記載された添加物を見比べたり自分で調べたりする必要が減り、ラク♪ 本当にありがたい!!

③今現在、多少時間に余裕があり、生活クラブに不満があるくらいなら、一度は自分でやってみても良いかなと思っていたところに、お声がけいただき引き受けました。

**ちょっときいて!** このコーナーには、疑問・質問・言いたい事・イラスト何でも自由にお書き下さい。

広報委員会で答えられない内容については、担当者にバトンを渡します。

ただし、氏名の記載がないものは受け付けません。ご了承ください。



氏名

組合員番号

しかし、生産者と交流し、いかに消費材が自分に届けられるのかを学ぶうちに、そんな自分がいかに傲慢で世間知らずであったかを自覚するようになりしました。

3年目理事として、生産する者と消費する者が生活者としてお互い支えあい、誰もが安心して暮らせる社会ができるように、微力ながら関わりたいと思います。

### 堀口雅子（再任・生駒エリア）

①奈良への転居がきっかけ。それまで利用していた食材宅配サービスが、転居当時関西で展開していなかったためです。

②消費材がどのように作られたものなのかがわかる。生産者との直接交流ができる。同じクオリティで比較すると、価格が安く、これは大変魅力的です。

③以前から防災・減災の分野に興味があり、昨年、防災士の資格を取得しました。今は地元自治会の活動や県の防災士の講習などに参加し、経験を積んでいる最中ですが、いつか奈良でも「生活クラブ」を通して防災・減災の視点からの組合員としてのつながりを持ってたら...と思うようになりまし

た。何か一歩を踏み出すことを目指して、努力していきたく

と思っています。



## 退任理事より

### 小野塚亜紀子

2年間理事を務めさせていただきました。委員の時から少し内側から生活クラブを知る機会となり、違った角度からも見る事が出来るようになったかなと思います。

この2年間はまだコロナ禍が続いており、直接生産者さんにお会いしたり、産地訪問をする機会が少なく残念でしたが、オンラインを活用して新たな交流ができたことはまた良い経験になりました。

今年度はようやくコロナ禍前の活気が戻ってきたのではないでしょう

か。私は一年目は青果委員会、二年目は消費委員会を担当しました。なかなか一緒に活動できる委員さんが見つからず、慢性的に担い手不足であることも知る機会となりました。

今は昼間働いておられる方が圧倒的に多くなったので、致し方ないことかもいれませんが。

理事や委員になって主体的に関わりを持つ人が増えるに越したことはありませんが、たとえば...

・交流会や試食会などのイベントに参加する

・消費材の利用、特に職員さんオススメの消費材を利用する

・生活クラブを知り合いに伝える  
・アンケートに答える

・総代会の総代になるなども活動になると思います。

私が担当していた消費委員会発行の「消費委員会ニュース」のリレーコラムが届いた時には、何よりもモチベーションにつながりました。よかったら皆さん、日々お忙しいかとは思いますが、こんな感じで出来ることを持ち寄って生活クラブ奈良をさらに盛り上げていきませんか！

私自身これから出来る範囲で長く活動が続けていきたいと思いたいで、またどうぞよろしく願っています。

ありがとうございました。

### 広報委員会からのお知らせ

広報委員会では、Yummy<sup>3</sup>通信の発行のほか、公式 Instagram と公式 Facebook の運営管理を行っています。フォローしてね♪

[http://www.instagram.com/seikatsuclub\\_nara](http://www.instagram.com/seikatsuclub_nara)

#### 広報委員募集！

文章を書くのが好き！

イラストを描くのが好き！

Instagram や Facebook に興味がある方は、ぜひ一緒に活動しましょう！ Tel 0743-58-5225



組合員と運営側の理事会との間の、風通しを良くしたいと思っています。

### 田中正美（再任・生駒エリア）

①大阪に住んでいた頃、イベントで出逢った組合員さんの勧めで。当時妊娠中だったこともあり、産まれてくる子供の未来のためにと思いました。

②添加物や環境に配慮した消費材は一般のスーパーでは容易に手に入らないし、生産者にお会いして、こだわりの苦勞を知る機会が得られるという点です。

③生駒エリアは、活動の担い手がいないというのが現状です。

少しでも多くの組合員にエリア活動について知ってもらい、組合員の横のつながりを作っていく事から始めていきたいです。

### 西涼子（再任・中南部エリア）

①本部センターの近所を通りかかった。

②消費材以外の食生活が思い浮かびません。

③世間一般では消費者はお客様と呼ばれ、ある場合には神様とまで言われます。それは売る方からすれば、気持ちよくお金を出させる為の方便に過ぎません。

私自身も、理事になるまではお客様のつもりでした。買う買わない事で、何らかの力を持っているように感じていました。

# Rびんの返却にご協力ください！



## びんを、くりかえし使う

生活クラブでは、びん容器の規格を統一し、くりかえし使うグリーンシステムを1994年から開始し、資源循環のしくみを作ってきました。8種類のRびんのうち、900mlと500mlのRびんは国から「自主回収容器」の認定を受け、容器のリユースにかかる費用が免除されています。回収率80%を維持することが認定の条件の一つで、この数字を維持できない状況が続くと認定取り消しの恐れがあり、長年継続してきた資源循環のしくみの崩壊にもつながりかねません。

## 奈良ではかろうじてクリア

2022年度の奈良の回収率は、900mlびんは88.1%、500mlびんは82.0%でそれぞれ前年より回収率が上昇しました。どちらの種類も『80%』を越えており奈良の組合員の皆さんの『返却』が確実に定着していることを表していますが、ここで安心するわけにはいきません。生活クラブ全体で見ると500mlびんが、また身近な関西6単協の場合は900mlびんがまだ80%に達していない状況です。

### 編集後記

先日、Instagram活用講座に参加し、Instagramでリール配信する方法を習いました。写真や動画に字幕を付け、音楽を乗せる方法です。リールは、フォロワー以外の人にも見てもらいやすいとのことでした。

個人のInstagramに投稿したリールの再生回数がなんと1600回を超え、自分でもびっくりしています。

生活クラブのことを、消費材の事を多くの人に知っていただくため、どんどん投稿していきます。組合員の皆様もぜひ見てみてください。

(広報 木田洋子)

## 指定びん以外は？

上記2種類以外のRびんの奈良での回収率は、360mlびんは74.8%、350mlUDびんは77.4%、200mlびんは53.1%、200mlドレッシングびんは75.4%という結果でした。これらは自主回収容器ではありませんが、CO<sub>2</sub>を削減し環境を守るという意味においてさらに返却率アップを図り、リユース（再利用）を進めていかなければなりません。

## びんの返却をライフスタイルに

今年度、奈良の回収率の目標は、昨年の実績をふまえて、900mlびんは90%、500mlびんは85%としました。今年もみんなの力で回収率をアップさせましょう！Rびんの利用と返却が私たちの生活にごくごく自然に馴染み、素敵なお『ライフスタイル』のひとつとなるようにしていきたいものです。

### 今後の予定

- 7月22日(土)10:00~13:00  
よもやまおしゃべり会@天理（中南部エリア）  
「こどもたちのごはんから考える」
- 7月27日(木)10:30~13:30  
伊賀有機農産 親子クッキング  
西部公民館にて（奈良エリア）
- 8月17日(木)10:00~12:00  
エッコロカフェ  
（本部センター）  
「子育て世代交流  
簡単お菓子作り」
- 9月29日(金)  
10:00~12:30  
お菓子作り 西部公民館にて（奈良エリア）  
講師：ヴィラー・ジュ川端

